

## 資料 20 平成 20 年度海外ホームステイ研修報告書

1 主 催	山口県立華陵高等学校 PTA 広報国際部会	
2 場 所	オーストラリア・クィーンズランド州 ブリズベン (BRISBANE)	
3 期 間	平成 20 年 7 月 22 日 (火) ~ 8 月 11 日 (月) 21 日間	
4 対 象 生 徒	山口県立華陵高等学校第 2 学年生徒 下松市国際交流教育基金海外語学研修生	
5 参加生徒数	20 名	
	山口県立華陵高等学校第 2 学年生徒	15 名
	下松市国際交流教育基金海外語学研修生	5 名
	山口県立華陵高等学校第 2 学年生徒	4 名
	山口県立下松高等学校第 2 学年生徒	1 名
6 同行教諭	山口県立華陵高等学校 2 名	
7 取扱い業者	ISA	
8 費 用	375,000 円 (任意保険料, パスポート取得費用等を除く)	
9 研修日程		

月/日	時間帯	活動内容
7/22 火	5:00	華陵高校出発 (専用バス)
	8:00	福岡空港到着, 出国手続き等を行う。
	10:15	福岡発シンガポール航空 SQ655 便にてチャンギ国際空港へ
	15:25	チャンギ国際空港 (シンガポール) 到着
	21:10	シンガポール発シンガポール航空 SQ235 便にて空路ブリズベンへ
7/23 水	6:35	ブリズベン空港到着, 入国手続き
	7:00	現地 ISA スタッフの出迎え
	8:30	市内散策
	14:00	現地校到着
	14:30	ホストファミリーと対面, ホームステイ先に移動
7/24 木	9:00~9:30	校内チャペルを見学
	9:35~11:00	図書館
	11:30~12:30	学校案内
	13:30~15:00	英語研修
7/25 金	9:00~11:20	英語研修
	12:00~15:00	現地小学生との交流(折り紙・スポーツ)
7/26・27 土・日	終日	ホストファミリーと過ごす
7/28 月	9:00~12:00	英語研修
	12:00~15:00	現地小学生との交流及び授業見学
7/29 火	9:00~12:00	フィールドワーク (近隣のショッピングモールへ)
	12:00~15:00	英語研修
7/30 水	9:00~12:00	英語研修
	13:00~15:00	現地校生徒との交流 (スポーツ)
7/31 木	9:00~13:00	ウォントックカルチャーセンター訪問 (アボリジニ文化体験)
	14:00~15:00	英語研修
8/1 金	9:00~12:30	フィールドワーク (プッシュウォーキング)
	12:45~15:00	英語研修
8/2・3 土・日	終日	ホストファミリーと過ごす
8/4 月	終日	ゴールドコースト訪問 (サーフィンレッスン, サーファーズパラダイス自由散策)
8/5 火	9:00~12:00	英語研修 (市内図書館にて)・博物館見学
	12:00~15:00	市内散策 (ショッピング)
8/6 水	9:00~12:00	英語研修
	13:00~15:00	現地校生徒との交流 (スポーツ)
8/7 木	9:00~12:00	英語研修
	12:00~15:00	現地高校の授業見学

8/8 金	9:00～12:00 13:00～15:00	フィールドワーク（ブッシュウォーキング） さよならパーティー
8/9 土	終日	ホストファミリーと過ごす
8/10 日	11:00 11:30 12:00 14:45 20:45	現地校集合 現地校出発 ブリズベン空港到着，出国手続 ブリズベン発シンガポール航空 SQ236 便にて空路シンガポールへ チャンギ国際空港到着，待機，乗り換え
8/11 月	1:00 8:05 9:00 12:00	シンガポール発シンガポール航空 SQ656 便にて，空路福岡へ 福岡空港到着，入国手続 専用バスで福岡空港を学校へ向けて出発 華陵高校到着

## 1 0 研修内容

### (1) 英語クラス (Brisbane Adventist College)

各クラス10名の2クラスに分かれて，主にオーストラリアの動植物・文化等について学んだ。始めは聞こえてくる英語を日本語に置き換えながら理解していた生徒たちであったが，次第に英語を英語のまま理解できるようになっていった。特に，リスニングの力が伸びたと実感した生徒が多かった。

### (2) 午後の研修

現地の生徒(小1～高3)との交流において，自然な形で英語を使っていくうちに英会話力のみならず，お互いの友好を深めることができた。ブッシュウォーキングでは，オーストラリアの自然を満喫し，ワラビーやワライカワセミ，ユーカリなどのオーストラリア固有の動植物について学んだ。カルチャーセンター訪問では，アボリジニの歌や踊り，ブーメラン作成などの文化体験を楽しんだ。

### (3) 終日研修

8月4日には，ゴールドコーストのサーファーズパラダイスに行き，波乗りを体験したり，ショッピングを楽しんだりした。

### (4) 修了証書授与・さよならパーティー

研修最終日，お世話になった方たちに感謝の気持ちを込めて，歌を歌ったり，研修中の思い出や文化の違いをスキットにして発表したりした。その後，先生から修了証書を一人一人手渡してもらった。

## 1 1 事前研修

日 付	時 間	研 修 内 容	担 当
1月 15日 (火)	16:00 ～	第1回説明会 保護者同伴	ISA 華陵高校教諭
1月 29日 (火)	16:20 ～	第1回生徒説明会	ISA 華陵高校教諭
5月 28日 (水)	16:00 ～	第2回生徒説明会 生徒のみ	ISA 華陵高校教諭
6月 6日 (金)	16:00 ～	第1回生徒事前指導 ・ 昨年度のホームステイ研修について ・ プレゼンテーション準備	華陵高校教諭 大田・橋本
6月18日 (水)	16:00 ～	第2回生徒事前指導 ・ Useful Expressions ・ プレゼンテーション準備	華陵高校教諭 片岡・橋本
7月18日 (火)	16:00 ～	第2回説明会 保護者同伴	ISA 華陵高校教諭

## 1 2 ホームステイ研修アンケート報告

ホームステイ研修出発前と終了後に参加生徒全員に以下の項目についてアンケートを実施した。

### (1) 事前アンケート

1 ホームステイ研修を希望した動機は？	ア 英会話の力をつけたいから イ 異国の文化を経験したいから ウ 外国で生活してみたいから エ 外国に友達を見つきたいから	75% 80% 50% 15%
---------------------	--	--------------------------

2 ホームステイに参加するまでに、どんなことを心がけましたか？	ア 英会話の勉強 イ 日本文化についての勉強 ウ 持って行くお土産のこと エ 海外旅行の仕方についての勉強 オ オーストラリアに関する本を読む カ その他	35% 40% 75% 35% 40%
3 出発直前で何に不安を感じていますか	ア 自分の英語が通じるかどうか イ ホームステイの家庭とうまくやっていけるかどうか ウ 現地の人とうまくコミュニケーションがとれるかどうか エ 外国の生活様式に慣れることができるかどうか オ 飛行機の旅が不安である カ 食事に慣れるかどうか キ 現地での英語の授業についていけるかどうか ク 事故や病気について心配である ケ その他（盗難、落とし物、事件に巻き込まれること。ぼんやりしていて大変なミスをしてしまうこと。）	80% 65% 20% 20% 0% 15% 30% 15% 5%
4 ホームステイに何を期待していますか？	ア 様々な体験ができること イ 英会話の力がつくこと ウ 異国での体験で、自分が良い意味で変わる事 エ ホストファミリーとうまくやっていけること オ 外国に友達ができること カ その他	80% 60% 60% 25% 35%

(2) 事後アンケート

1 今回の研修で良かったことは？	ア 全てが初めての体験で、感動の連続だった イ 異国での経験を通じて、自分が成長したような気がする ウ 外国人にあって、尻込みしなくなった エ 英会話の力がついた オ Yes/No がハッキリ言えるようになった カ 今までの自分の見ていた世界がいかに狭いかが分かった キ 何事にも積極的になれるようになった ク その他（新しい家族ができた。感謝する人になった。）	65% 95% 75% 70% 55% 75% 35% 10%
2 ホームステイの印象は？	ア オーストラリア人は大変親切であった イ 言葉は通じなくてもジェスチャーなどで楽しく過ごせた ウ 自分の家庭と違った家庭での生活は大変勉強になった エ 様々なところへ行くことができ楽しい経験をした オ 自分のこれまでの生活が大変甘えたものであることが分かった カ 素直になることの大切さを知った キ その他（家族が自分の家族に似ていて親近感がわいた。）	90% 70% 80% 65% 25% 40% 5%
3 今回の研修の内容で良かったものは？	ア ホストファミリーとの生活 イ ウェルカムランチ ウ 英語の授業 エ 現地校での授業参加 オ アボリジニセンター訪問 カ 終日ブリズベン市内見学 キ 終日ゴールドコースト見学（サーフィン含） ク フェアウェルパーティー ケ その他	80% 10% 15% 40% 100% 75% 95% 45%
4 ホストファミリーへのお土産は何を持っていきましたか？	1位 扇子 15人 2位 折り紙 11人 3位 日本のお菓子 8人 4位 紙風船 7人 5位 けん玉, 和柄ハンカチ・手ぬぐい 6人 6位 はし, 和柄の巾着袋, 竹とんぼ 4人 7位 だるまおとし, 日本語入りのTシャツ, ハローキティグッズ, うちわ 3人 8位 和紙, ビー玉, 万華鏡, 風鈴, パズル, 日本を説明した英語本, 筆ペン 2人  他	

### 1 3 感想文

研修終了後、生徒たちに研修で印象に残っていること、学んだこと、感じたことなどを書いてもらった。以下の文はそれらの作文の中からの抜粋である。

勇気と積極性があれば英語が通じないことはないと思った。怖がったらそこで終わりだと思った。

オーストラリアは日本と比べて“個”が尊重されており、周りの目を気にして何かをしなければいけないということはありませんでした。しかし、その“個”には自分の好きなようにする自由とともに、自分のしたことに対する責任がはっきりと感じられました。BAC の生徒さんたちにもそれは表れており、自らの責任のもと、やることはやった上で、色々な髪型や服装をしている様子は本当に素敵でした。単に見た目を飾るのと、自分の外見に責任を持つのは違うと教えてもらったように思います。そして何事にも大らかなのも特徴的で、何にでもすぐ目くじらを立てていた自分は心が狭かったと反省しました。小さなことにピリピリ、クヨクヨするよりも今このチャンスを楽しむ方が何倍も大切なのだと分かりました。

日本語を使っても言葉ではほんの一部しか言い表せません。あの青い空を、海を、笑顔を脳裏にしっかりと焼き付けて決して忘れないようにします。そしてこのような機会を与えてくださった全ての方やオーストラリアに心から感謝します。ありがとうございました。

私は今まで外国に行ったことがなくて、全く想像がつかなかった。未知の場所だった。でも、実際に行ってみて、しかもホームステイという一番オーストラリアの生活に近い形で体験できて、文化や環境、言葉に違いはあっても同じ人間なんだと言うことを強く、改めて感じた。これが一番大きな得た物だと思う。

私はホームステイ 2 日目でホームシックになりました。その時、ホストファミリーは私に「心配しないで。」「あなたはオーストラリアでの生活を楽しむべきよ。」と言って、私の肩を抱いて慰めてくれました。私はその時、うれしい気持ちでいっぱいになりました。わたしにとって、家族のありがたさが分かる瞬間でした。何気なく一緒に生活していたので分かりませんでした。日本の家族も、オーストラリアの家族も、私にとって大切な存在です。英語の力を伸ばすだけでなく、こういったことも学べるのだと思いました。ホームステイ研修に参加して本当に良かったです。

今までいかに自分が狭いところにいたか分かった。一つ一つ感謝することを覚えた。素直に“Thank you”が言えること、他人と目があってにっこり笑うこと、積極的になることが大切で、なんとなくうれしかった。絶対自分の夢を叶えてもう一回行こうと思った。

毎日が充実したとても良い 3 週間になった。英語に対する感覚がものすごく変化して、今では聞こえた英語を一度日本語に訳して英語を話していたけど、今では聞こえてきた英語をそのまま訳さなくてよくなった。楽しかった。

今振り返ると毎日がとても楽しいものだった。初めて日本から一人で出て行くので、緊張と不安もあったけど、同じくらい楽しみな気持ちもあった。でも、着いてからはホームシックばかり。日本がものすごく恋しかった。それが今ではオーストラリアの方が恋しくて仕方ない。世界を見ると日本は本当にちっぽけなもので、オーストラリアに来たことに心から感謝する気持ちでいっぱいです。また大人になって機会があれば是非また来たい。それまでにもっと英語力を上達させたいと思う。

言葉が違ってあんなにコミュニケーションがとれるんだなあと思いました。あと、もっと実践的な英語力もつけたいし、基礎をもっと固めたいと思いました。毎日が新たな発見ばかりでした。また必ずオーストラリアに行きます。

日本語英語の発音のせいか、一回では伝わらないことが何回かあった。学校の ALT には通じてても、本物の英語の中でずっと暮らしている人には自分の英語は聞き取りにくいのかなと思った。お店で買い物をするにしても、全て英語で書いてあるし、話さないといけないので大変だったが、ファーストフード店の英語を聞き取れたときはうれしかった。

私が一番感じたことは、英語でコミュニケーションをとることの難しさです。単語が出てこなかったりして、困ることもありました。でも、一生懸命伝えようとすることで、相手も分かってくれることがあり、うれしかったです。ホストファミリーとの生活は、始めはホームシックになって苦しいと感じることもあったけど、すぐに慣れ、楽しく過ごすことができました。このホームステイは私にとって、精神的に成長でき、よい思い出となりました。